

大船渡水産振興センター「復興板」 平成31年4月26日発行 第74号

漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

平成31年3月31日現在の管内県営漁港関係施設災害復旧工事の進捗率は、80%となっています。 (平成31年3月31日現在)

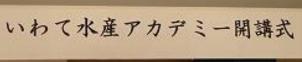
		-	害査定 調査決定額)		発注	進捗状況	完成	
		件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁	港	242	32,244,006	240	32,531,093	32,441,917	95	228
漁港海岸		11	34,117,361	11	27,329,952	22,062,931	65	3
漁	場	2	498,880	2	498,881	498,880	100	2
合	計	255	68,860,247	253	60,359,926	55,003,728	80	233

· さっちゃんNEWS part]

<いわて水産アカデミーが開講しました>

平成31年4月9日、本県漁業の中核を担う人材を育成することを目的として、いわて水産アカデミーが開講しました。県、漁業関係団体、市町村単位の漁業就業者育成協議会が協力して開設したもので、開講式には第1期生の18歳から50歳までの7名が参加しました。

研修は、4月26日まで大船渡市三陸町の北里大学三陸臨海教育研修センターで漁業の基礎知識や技術を学ぶ「集合研修 I」と5月から3月までの隔月に6次産業化や漁業経営等の「集合研修 II」、さらに就業を希望する市町村の漁業者の下で、それぞれ養殖業や定置網漁業などを現場で学ぶ「実践研修」があります。また、アカデミーでは二級小型船舶操縦士と二級海上特殊無線免許の資格取得も目指します。





開講式

大船渡管内では、4名の研修生が 大船渡市(3名)と陸前高田市(1 名)で「実践研修」を受け、1年後 に本格的に漁業に就業する予定です。



オリエンテーション



★★★_スマイル130 (いちさんまる) プロジェクトについて_★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を(県外、世界に)届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の気持ちを盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき未来に追いつく復興を推進する取組みです。

2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況

(1) 共同利用施設等の復旧状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。 平成32年度に巻揚機1件の整備が予定されています。

(2) 大船渡市魚市場の水揚げ状況(平成31年1月1日から3月末累計)

平成31年		平成30年		震災前 (H20~H22の平均)		前年比 (H30/H29)		震災前(H2O〜 H22の平均)との 対比	
数量(トン)	金額(千円)	数量(トン)	金額(千円)	数量(トン)	金額(千円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
6,875	605,616	6,871	720,884	5,872	450,598	100	84	117	134

出典:いわて大漁ナビ

平成31年1月から3月までの大船渡市魚市場の水揚量は6,875トンで、昨年と同程度、震災前の約1.2倍でした。主な水揚げ魚種は、イサダ(4,068トン、2億3千万円)、マイワシ(1,414トン、9千万円)、サバ類(773トン、6千8百万円)などでした。震災前より水揚量、金額ともに増えた理由は、特にマイワシが定置網で好漁だったことが挙げられます。

・ さっちゃんNEWS part2

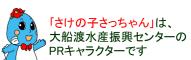
<大船渡市が岩手県高度衛生品質管理地域に認定されました>



3月18日に大船渡市が「岩手県高度衛生品質管理地域」に認定されました。このことは、本地域の衛生品質管理の高度化が一定水準に達していると県が認定したものです。

したものです。 平成27年に策定した「大船渡市水産 物高度衛生品質管理計画」に基づき、生 産から流通、加工までの一貫した衛生管 理の取組により、大船渡市魚市場をはじ め、地域内の定置網漁船や水産加工施設 のそれぞれ過半数が「いわて水産業地域 ハサップ(IF (PHACCP) 」を導入し、 このほかにサンマを使った鮮度と高品質 を活かした加工品開発などの取組が評価 されたものです。







『復興板』に関するお問い合わせ先 沿岸広域振興局水産部 大船渡水産振興センター〔担当 宮田〕 岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階 TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229 E-mail:BG0004@pref.iwate.jp